

インデックスドライブ INDEXING DRIVES

取扱説明書

株オオツカハイテック

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の前に各製品の「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
- ユニット運転中は危険ですのでユニット及び周辺機器には手をふれないで下さい。
- 製品の改造及び部品の改造は絶対にしないで下さい。(破損・事故の原因となります。)

1. ユニットの点検

- 1) 運送中の取扱による破損及び油もれの有無の点検をして下さい。
- 2) 取付面(タップ穴面)・オイルゲージ等の位置の点検をして下さい。
- 3) 給油口のプラグを付属のエアー抜き用の穴明きプラグと交換して下さい。
(交換しないと運転中に油もれする場合があります。)

2. 取付け

- 1) ユニットは取付面にしっかりと取付けて下さい。
- 2) 入出力軸との連結は、その部分にガタやズレがないようにして下さい。
 - ① キーにより連結する場合は、キーとキー溝の間にガタがないようにして下さい。
 - ② カップリングにより連結する場合は、相互の軸間に芯ズレがないようにして下さい。

3. 駆動・従動部への配慮

- 1) 可動部にバックラッシュがないように調整して下さい。
- 2) 許容トルク内であることを確認して下さい。

4. 運転

- 1) 可動部に障害物がなく運転中に衝突事故が起きない事を確認してから運転を始めて下さい。
- 2) 入力軸の回転ムラを見て下さい。回転にムラがある場合は、ユニットに所定のトルク以上の負荷がかかり振動や破損の原因になります。
- 3) 起動・停止は、入力軸(カム)の停留部分(入力軸が回転しても出力軸が回転しない部分)で行って下さい。
インデックス範囲(停留部分以外の部分)で行うとユニットや駆動部に大きな負荷が働き、故障の原因になります。
- 4) ユニットはナラシ運転を行った後に出荷しておりますが、運転開始に当たっては20時間程度軽負荷でナラシ運転を行って下さい。

5. 保守及び点検

- 1) 毎日、運転開始前に潤滑油量の点検と可動部分のバックラッシュや緩みの無いよう点検及び調整を行って下さい。
- 2) 潤滑油の交換

1回目	運転開始後250～500時間
2回目以降	3000時間運転ごと

油量は停止時にオイルゲージの中央になるように入れて下さい。
油量は取付姿勢により異なりますが、表の量を目安にして下さい。

◎ 型式別オイル量の目安

パラレル・ピックアンドプレス	
型式	オイル量(ℓ)
OPS50	0.4
OPS63	0.5
OPS80	0.7
OPS100	1.2
OPS125	2.8
OPS160	5.5
OPS200	11.0
OPS250	22.0
OPS315	53.0
OPO55	1.5
OPO80	3.5

ローラーギヤ			
型式	オイル量(ℓ)	型式	オイル量(ℓ)
ORS45	0.2	ORF45	0.2
ORS55	0.4	ORF55	0.3
ORS60	0.4	ORF60	0.4
ORS70	0.8	ORF70	0.7
ORS80	1.2	ORF80	1.2
ORS90	0.9	ORF90	0.9
ORS100	2.3	ORF100	2.3
ORS125	4.0	ORF125	4.0
ORS160	8.2	ORF160	8.4
ORS200	15.2	ORF200	17.0
ORS250	30.0		

OPFはOPSと同一容量となっております。

◎ 推奨潤滑油(ISO VG220相当)

メーカー	商品名
出光興産	ダフニースーパーギヤオイル 220
ENEOS	ボンノック TS220
Mobil	モービルギヤ 600XP-220
Mobil	スパルタン EP220
シェルブルリカンツジャパン	シェルオマラオイル S2G 220
コスモ石油ブルリカンツ	コスモギヤー SE220

6. トラブル

次のような事が起きた場合は運転を中止し点検して下さい。

もし使用できる状態でも、そのまま運転すると事故につながる場合があります。

- 1)異常な音や振動が出始めた。
- 2)ユニットの温度が上昇した。
- 3)割出位置がずれてきた。
- 4)その他通常と異なる事が起きた。

◎ 点検

- ①負荷トルクが許容内にあるかどうか。
- ②可動部にバックラッシュや緩みがあるかどうか。
- ③連結部分に緩みがあるかどうか。
- ④潤滑油の量が適正かどうか。

上記の各項目を点検し弊社まで御連絡下さい。

株式会社 オオツカハイテック
 〒365-0012 埼玉県鴻巣市上会下626
 TEL 048-569-2711
<https://otsuka-hi-tech.co.jp/>